

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	千葉・柏リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 医療創生大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	10 単位	10 単位	
	作業療法学科	夜・通信	10 単位	10 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

Web サイト上 https://ckr.isu.ac.jp/information-disclosure/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	千葉・柏リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 医療創生大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

Web サイト上 https://ckr.isu.ac.jp/information-disclosure/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	特定非営利活動法人萌木 理事長 元文部科学副大臣	2025.6 ～ 2029.6	教育行政等の観点か らの学校法人運営
非常勤	千葉・柏リハビリテーショ ン病院 院長	2025.6 ～ 2029.6	医療人材養成の観点 からの学校法人運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	千葉・柏リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 医療創生大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 【授業計画書の作成】 授業計画書(シラバス)の作成は、授業評価に基づき担当者が案を作成し、学科会議での検討の上で、運営会議にて決定となる。 【授業計画書の公表】 新入生に関しては、4月の入学ガイダンスにて配布し説明を行っている。 在校生に関しては、3月末から4月初旬の進級オリエンテーションにて配布し説明を行っている。 また、ガイダンス前にWeb上での公表を実施する。	
授業計画書の公表方法	Web サイト上 https://ckr.isu.ac.jp/information-disclosure/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

【学習評価】

授業科目の担当教員が定期試験の結果において、履修状況等に基づき学期ごとに実施している。ただし、実習評価については、学科会議の議を経て実習ごとに実施している。

〔本校の評価〕

得点区分	評価区分	単位認定
100 点～80 点	優	合格
79 点～70 点	良	合格
69 点～60 点	可	合格
59 点～ 0 点	不可	不合格

【試験の種類】

本校の試験の種類は、定期試験(前期末試験・後期末試験)、学年末特別試験、追試験、再試験としている。

なお、追試験は病気等で定期試験未受験の者を受験対象とする。

再試験は定期試験不合格者を対象とする。

※詳細は本校学則細則を参照。

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本校では、成績評価データとして以下の方法を用い、全学生の成績分布状況の把握を行っている。

〔成績評価のデータ計算方法〕

学生ごとの定期試験各科目の素点を合計した上で、受験すべき科目数で除し、平均点を割り出す。その平均点により、学年における順位付けを実施している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

Web サイト上

<https://ckr.isu.ac.jp/information-disclosure/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 【卒業の認定】 以下の教育理念や教育目標に基づき、全課程を修了した学生に対して、教職員会議の議を経て学院長が認めることとしている。 【本校の教育理念】 葵会グループの『治す』と『防ぐ』を高いレベルで両立する進化した医療を提供することを踏まえ、『健康でかけがえのないその人らしい人生を尊重する』ことを教育理念とした教育を実践する。『その人らしい人生』とは、その人の人格を尊重することのみならず、唯一無二のかけがえのない健康な人生そのものを尊重することである。葵会グループの理念に基づいた教育を実践するとは、理学療法、作業療法に必要な知識・技術・態度を得し、他者に対する暖かいまなざしを持ち『ケアリング』と『コーチング』を追求する高い倫理観を持った専門医療技術者を育てることである。さらに、理学療法士・作業療法士という職業を通して、学修者の『アイデンティティ』形成が深められ、それが職業観に結びつくような教育を実践することである。 【教育目標】 1. 生命の尊厳を基盤とし、理学療法・作業療法の対象を身体的・精神的・社会的な側面を持つ統合体としての人間を幅広く理解する能力を養う。 2. 対象の能力障害を科学的根拠に基づいて判断し、理学療法・作業療法を実践できる能力を養う。 3. 自己洞察ができ、他者に対し深い愛情とケアリングができる人間関係を営む能力を養う。 4. 進展する医療や社会のニーズに対応した臨床的観察力・分析力を活用し、治療計画立案能力を養う。 5. 保健・医療・福祉チームの一員として、理学療法・作業療法の役割と責任を果たし、他職種と協同・調整する能力を養う。 6. 専門医療技術者を目指し、倫理観を培うとともに自己教育力を養う。
卒業の認定に関する 方針の公表方法	

教育要綱及び web サイト

<https://ckr.isu.ac.jp/information-disclosure/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	千葉・柏リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 千葉・柏リハビリテーション学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://ckr.isu.ac.jp/information-disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://ckr.isu.ac.jp/information-disclosure/
財産目録	https://ckr.isu.ac.jp/information-disclosure/
事業報告書	https://ckr.isu.ac.jp/information-disclosure/
監事による監査報告（書）	https://ckr.isu.ac.jp/information-disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		専門課程	理学療法学科		○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	3, 255 時間 ／ 108 単位	1860 時間 ／ 77 単位	405 時間 ／ 9 単位	990 時間 ／ 22 単位	0 時間 ／ 0 単位	0 時間 ／ 0 単位	
			3, 255 時間 ／ 108 単位					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
240 人		217 人	0 人	9 人	14 人		23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 【授業計画書の作成】 授業計画書（シラバス）の作成は、授業評価に基づき担当者が案を作成し、学科会議での検討の上で、運営会議にて決定となる。 【授業計画書の公表】 新入生に関しては、4月の入学ガイダンスにて配布し説明を行っている。 在校生に関しては、3月末から4月初旬の進級オリエンテーションにて配布し説明を行っている。 また、ガイダンス前に Web 上での公表を実施する。	

成績評価の基準・方法

(概要)

【学習評価】

授業科目の担当教員が定期試験の結果において、履修状況等に基づき学期ごとに実施している。ただし、実習評価については、学科会議の議を経て実習ごとに実施している。

〔本校の評価〕

得点区分	評価区分	単位認定
100 点～80 点	優	合格
79 点～70 点	良	合格
69 点～60 点	可	合格
59 点～ 0 点	不可	不合格

【試験の種類】

本校の試験の種類は、定期試験(前期末試験・後期末試験)、学年末特別試験、追試験、再試験としている。

なお、追試験は病気等で定期試験未受験の者を受験対象とする。

再試験は定期試験不合格者を対象とする。

※詳細は本校学則細則を参照。

卒業・進級の認定基準
(概要) 【卒業の認定】 以下の教育理念や教育目標に基づき、全課程を修了した学生に対して、教職員会議の議を経て学院長が認めることとしている。 【本校の教育理念】 葵会グループの『治す』と『防ぐ』を高いレベルで両立する進化した医療を提供することを踏まえ、『健康でかけがえのないその人らしい人生を尊重する』ことを教育理念とした教育を実践する。『その人らしい人生』とは、その人の人格を尊重することのみならず、唯一無二のかけがえのない健康な人生そのものを尊重することである。葵会グループの理念に基づいた教育を実践するとは、理学療法、作業療法に必要な知識・技術・態度を得し、他者に対する暖かいまなざしを持ち『ケアリング』と『コーチング』を追求する高い倫理観を持った専門医療技術者を育てることである。さらに、理学療法士・作業療法士という職業を通して、学修者の『アイデンティティ』形成が深められ、それが職業観に結びつくような教育を実践することである。 【教育目標】 1. 生命の尊厳を基盤とし、理学療法・作業療法の対象を身体的・精神的・社会的な側面を持つ統合体としての人間を幅広く理解する能力を養う。 2. 対象の能力障害を科学的根拠に基づいて判断し、理学療法・作業療法を実践できる能力を養う。 3. 自己洞察ができ、他者に対し深い愛情とケアリングができる人間関係を営む能力を養う。 4. 進展する医療や社会のニーズに対応した臨床的観察力・分析力を活用し、治療計画立案能力を養う。 5. 保健・医療・福祉チームの一員として、理学療法・作業療法の役割と責任を果たし、他職種と協同・調整する能力を養う。 6. 専門医療技術者を目指し、倫理観を培うとともに自己教育力を養う。
学修支援等
(概要) ・スクールカウンセラーによるカウンセリングの実施により学生のメンタル面をサポートし、学生が安心して学修を継続できる体制を整備している。 ・面談等による学習指導を実施している。 ・入学前後から教員・職員による補習授業(カリキュラム上の授業を受ける際に前提となる中学・高校レベルの基礎知識の学び直し)を実施している。 ・自習室を設置し、学修に集中できる環境作りに取り組んでいる。 ・各演習室を授業時間以外でも学生に開放し、自主的な練習を可能にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
68 人 (100 %)	0 人 (0 %)	61 人 (89.7 %)	7 人 (10.3 %)
(主な就職、業界等) 病院等の医療機関			
(就職指導内容) 就職相談会の実施 履歴書等添削 面接指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士国家資格 専門士称号			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
223 人	17 人	7.6 %
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教員による三者面談、スクールカウンセラー(臨床心理士)によるカウンセリング等		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		専門課程	作業療法学科		○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	3, 330 時間 ／ 111 単位	1575 時間 ／ 72 単位	630 時間 ／ 14 単位	1125 時間 ／ 25 単位	0 時間 ／ 0 単位	0 時間 ／ 0 単位	
			3, 330 時間 ／ 111 単位					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
120 人		105 人	0 人	7 人	10 人		17 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 【授業計画書の作成】 授業計画書（シラバス）の作成は、授業評価に基づき担当者が案を作成し、学科会議での検討の上で、運営会議にて決定となる。 【授業計画書の公表】 新入生に関しては、4月の入学ガイダンスにて配布し説明を行っている。 在校生に関しては、3月末から4月初旬の進級オリエンテーションにて配布し説明を行っている。 また、ガイダンス前に Web 上での公表を実施する。	

成績評価の基準・方法		
(概要)		
【学習評価】		
授業科目の担当教員が定期試験の結果において、履修状況等に基づき学期ごとに実施している。ただし、実習評価については、学科会議の議を経て実習ごとに実施している。		
〔本校の評価〕		
得点区分	評価区分	単位認定
100 点～80 点	優	合格
79 点～70 点	良	合格
69 点～60 点	可	合格
59 点～ 0 点	不可	不合格
【試験の種類】		
本校の試験の種類は、定期試験(前期末試験・後期末試験)、学年末特別試験、追試験、再試験としている。		
なお、追試験は病気等で定期試験未受験の者を受験対象とする。		
再試験は定期試験不合格者を対象とする。		
※詳細は本校学則細則を参照。		

卒業・進級の認定基準
(概要) 【卒業の認定】 以下の教育理念や教育目標に基づき、全課程を修了した学生に対して、教職員会議の議を経て学院長が認めることとしている。 【本校の教育理念】 葵会グループの『治す』と『防ぐ』を高いレベルで両立する進化した医療を提供することを踏まえ、『健康でかけがえのないその人らしい人生を尊重する』ことを教育理念とした教育を実践する。『その人らしい人生』とは、その人の人格を尊重することのみならず、唯一無二のかけがえのない健康な人生そのものを尊重することである。葵会グループの理念に基づいた教育を実践するとは、理学療法、作業療法に必要な知識・技術・態度を得し、他者に対する暖かいまなざしを持ち『ケアリング』と『コーチング』を追求する高い倫理観を持った専門医療技術者を育てることである。さらに、理学療法士・作業療法士という職業を通して、学修者の『アイデンティティ』形成が深められ、それが職業観に結びつくような教育を実践することである。 【教育目標】 1. 生命の尊厳を基盤とし、理学療法・作業療法の対象を身体的・精神的・社会的な側面を持つ統合体としての人間を幅広く理解する能力を養う。 2. 対象の能力障害を科学的根拠に基づいて判断し、理学療法・作業療法を実践できる能力を養う。 3. 自己洞察ができ、他者に対し深い愛情とケアリングができる人間関係を営む能力を養う。 4. 進展する医療や社会のニーズに対応した臨床的観察力・分析力を活用し、治療計画立案能力を養う。 5. 保健・医療・福祉チームの一員として、理学療法・作業療法の役割と責任を果たし、他職種と協同・調整する能力を養う。 6. 専門医療技術者を目指し、倫理観を培うとともに自己教育力を養う。
学修支援等
(概要) ・スクールカウンセラーによるカウンセリングの実施により学生のメンタル面をサポートし、学生が安心して学修を継続できる体制を整備している。 ・面談等による学習指導を実施している。 ・入学前後から教員・職員による補習授業(カリキュラム上の授業を受ける際に前提となる中学・高校レベルの基礎知識の学び直し)を実施している。 ・自習室を設置し、学修に集中できる環境作りに取り組んでいる。 ・各演習室を授業時間以外でも学生に開放し、自主的な練習を可能にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
42 人 (100 %)	0 人 (0 %)	37 人 (88.1 %)	5 人 (11.9 %)
(主な就職、業界等) 病院等の医療機関			
(就職指導内容) 就職相談会の実施 履歴書等添削 面接指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 作業療法士国家資格 専門士称号			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
117 人	6 人	5.1 %
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教員による三者面談、スクールカウンセラー(臨床心理士)によるカウンセリング等		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法 学科	200,000 円	800,000 円	380,000 円	その他の内訳 実験実習費 60,000 円 施設設備費 320,000 円
作業療法 学科	200,000 円	800,000 円	380,000 円	その他の内訳 実験実習費 60,000 円 施設設備費 320,000 円
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ https://ckr.isu.ac.jp/information-disclosure/		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
(備考)		
第三者評価は実施予定なし		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ https://ckr.isu.ac.jp/information-disclosure/
